

緑生瓦版

2007.07.01

第九号

生き物展示への取り組み

二〇〇五年十一月から開館した国営昭和記念公園（東京都立川市）の「花みどり文化センター」において、園内に生育・生息する生き物を紹介する展示物の制作・設置に關わる業務を担当しました。この展示では、パネル制作やアクリル樹脂標本の作製、タスキの展示用映像の撮影・編集なども行いましたが、来園者に分かりやすく、興味を持ってもらえる展示作りが課題となりました。今後、生き物の奥深さや美しさ、面白さを、より多くの人に感じてもらえるような展示物の提案を行っていきたいと考えています。

計画部

宇津木 栄津子

緑生研究所って、どんな会社…？

～ 調査の取り組み ～
ハーブトラップの紹介

多くのコウモリ類は、捕獲して体の各部（腕、足、翼、耳など）の計測を行わないと同定が出来ません。今まではカスミ網による捕獲が主流でしたが、最近では「ハーブトラップ」を用いた調査が注目されています。今回はそのハーブトラップを紹介します。（調査部 金子賢太郎）

ハーブトラップはどのように使うの？

日中のうちに、コウモリが飛びそうな場所に設置します。コウモリが飛翔し、かつハーブトラップを仕掛けるのに適した場所は、林道、河川、ダム の堤体上、洞窟やトンネルの出入り口などです。

ハーブトラップの大きさは？

様々なタイプがありますが、縦横 0.5m ~ 2.0m のものが一般的です。

どうしてコウモリが捕れるの？

飛んでいるコウモリが、トラップのハーブ部分（縦糸を張っている部分）にぶつかり、下部にある捕獲袋に落下します。捕獲袋には「返し」が付いていて、落ちたコウモリが羽ばたいても、飛びたえない構造になっています。また、「返し」の部分がビニール製なので、コウモリは爪を立てられず、よじ登っても捕獲袋から出ることが出来ません。

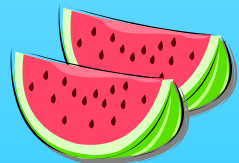
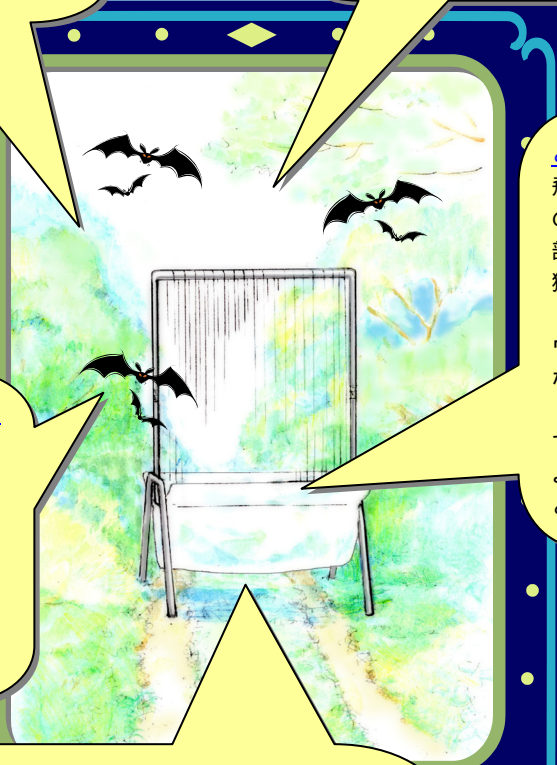
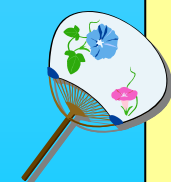
ハーブトラップで、どんなコウモリが捕まえられるの？

当社ではハーブトラップで以下のコウモリの捕獲実績があります。ヒメホオヒゲコウモリ、カグヤコウモリ、モモジロコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、ノレンコウモリ、ユビナガコウモリ、コテングコウモリ、テングコウモリなど

カスミ網調査と比べて、どんな利点があるの？

その1：カスミ網調査では網にかかったコウモリをすぐに網から外さないと、コウモリが網を食い破って逃げてしまいます。また、長時間網に絡まっている状態はコウモリにとってもストレスです。そのため、網の側で常に調査員が待機し、頻繁に捕獲状況や網の状態をチェックしなければなりません。ハーブトラップでは捕らえたコウモリが捕獲袋の中に落ちるので、捕獲後にコウモリが逃げることはなく、調査員が常にトラップの側で待機している必要がありません。

その2：カスミ網にかかったコウモリは網に絡まっているので、網からコウモリを取り外すのはかなり手間ですが、ハーブトラップでは袋の中に入っているだけなので、コウモリをトラップから取り出すのがとても簡単です。



写真だより



イブキジャコウソウ *Thymus serpyllum*

おもに高山の明るい岩地に生育する矮性低木です。種名は、滋賀県の伊吹山で見つかったこと、葉に芳香があることによります。料理などに使われるタイムと同属です。

ヤブガラシ *Cayratia japonica*

やぶなどに生育するつる性の多年草です。緑色の花弁は小さく地味ですが、オレンジ色やピンク色の花盤(雌しべの基部にある、蜜を分泌する器官)が目を引きます。



アンケートのお願い!

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えて下さい。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** をお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。
第十号は、九と一で「キウイの日」、九月一日の発行を予定しています。特集では『植物の調査』について、当社の取り組みを紹介します。お楽しみに！

夏の野外作業には、蚊取り線香は欠かせないという方は意外に多いのではないのでしょうか。
明治時代に除虫菊(シロバナムシヨケギク)が輸入されて以来、ながく使われていますが、最近では様々な事情から、あまり使われなくなつたような気がします。そのため、ユーモラスで癒し系のあの「ブタさん」の出番が減つてしまつたことは、ちよつと寂しいですね。

